

# 平成 25 年度学術賞候補者推薦方法について

公益社団法人 日本化学会

## 1. 賞の対象

賞の対象は、表彰規程および学術賞・進歩賞選考委員会規則により、つぎのとおり定められている。

- (1) 学術賞は、本会会員であって、化学の基礎または応用のそれぞれの分野（物理化学、無機化学・分析化学、有機化学、材料化学・高分子化学、天然物化学・生体関連化学（医薬薬を含む）、複合領域（情報・計算機化学、地球化学、環境化学、資源・エネルギーを含む）において先導的開拓的な研究業績をあげた者で、論文の数というよりは、論文は少数でも優れた業績を挙げた者に授与する。
- (2) 学術賞は、学会賞以外の賞を受けた者も授賞の対象とするが、進歩賞の受賞者で、その受賞対象の主要部分が同一の場合は授賞対象としない。
- (3) 学術賞、学会賞、進歩賞は同時に受けることはできない。

## 2. 提出書類〔返却しない〕

- (1) 支部長あて候補者推薦書（別紙用紙を使用）
- (2) 会長あて候補者推薦書（別紙用紙を使用）
- (3) 候補者調書
  - 1) 研究歴（別紙用紙を使用）
  - 2) 業績内容説明書（別紙用紙を使用）：研究成果の概要（1400 字以内）、研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけと研究状況などを反応式、構造式、図・表を含めて具体的かつ簡潔に A 4 判用紙 4～5 枚程度（8000 字以内）にまとめる。  
なお、候補者の業績が共同グループによる研究であって、過去にそのグループの業績に対して本会賞が授与されている場合は、賞名、年次、受賞者名、題目を説明書の末尾に付記すること。
  - 3) 業績目録（別紙用紙を使用）：当該研究に関連のある主要な論文（総説を含む）20 件以内のリスト。論文と総説に分けて記入。なお、下記 4) の提出論文には○印を付すこと。
  - 4) 論文または総説の別刷 5 報以内を各 10 部、10 組セットにする。コピーでも可。

## 3. 業績説明

選考委員会における業績説明（下記 6 参照）は、第一次選考に通過した候補者のみ行い、説明は候補者本人が行う。なお、業績説明のための旅費・交通費については本会は負担しない。

## 4. 書類執筆上の注意

- (1) 清書は、ワープロ印書とすること。
- (2) 年号は全て西暦で統一すること。
- (3) 会長あて候補者推薦書の推薦支部、支部長の欄は、推薦書作成者（または候補者）が記入すること。  
\*本年度の各支部長は下記に記載。
- (4) 推薦する分野名は必ず記入すること。

分野：物理化学系、無機化学・分析化学系、有機化学系、材料化学・高分子化学系、天

然物化学・生体関連化学系（医農薬を含む）、複合領域（情報・計算機化学、地球化学、環境化学、資源・エネルギーを含む）

- (5) 業績目録は、下記例のとおり記載し、論文、総説、著書などを区別して記載すること。ただし、論文、報文の中に印刷中(in press)の査読論文（審査のある論文）は加えることができるが、投稿中(submitted) の場合は記載できない。論文誌でないもの（たとえば「化学と工業」）に掲載されたものは解説記事として取り扱い、査読論文と区別する。国内、国際会議での口頭発表、招待講演は書かない。

[例] (15) Molecular-Sieve Type Sorption on Alkali Graphites, M.Wada, S.Suzuki, A.Takahashi, Bull. Chem. Soc. Jpn., 43, 2656 (1983)

- (6) 支部へ提出の際には「支部長宛の推薦書」を添付し、「会長宛候補者推薦書」を1頁目とし、「研究歴」、「業績内容説明書」、「業績目録」の順に、用紙下部中央に通し頁を記入すること。

#### 5. 推薦書提出先および提出締切日

候補者が所属する支部の事務局へ提出する。

締切日は各支部によって多少異なるので支部事務局に確認すること。

#### 6. 平成 25 年度選考委員会開催日

- (1) 書類選考〔郵便〕（第一次選考） 平成 25 年 9 月中旬～下旬  
(2) 選考委員会（業績説明会最終選考） 平成 25 年 11 月 26 日（火）・27 日（水）

以上

☆学術賞受賞者は、受賞した業績を本会論文誌 Bull. Chem. Soc. Japan, Accounts に投稿しなければならない。

#### \*平成 25 年度日本化学会各支部長（敬称略）

- ・北海道支部長 太田 信廣
- ・東北支部長 山下 正廣
- ・関東支部長 小坂田 耕太郎
- ・東海支部長 阿波賀 邦夫
- ・近畿支部長 戸部 義人
- ・中国四国支部長 高木 謙
- ・九州支部長 中嶋 直敏

# 学術賞

## 候補者調書の作成に当たって

1. 適当な A4 判用紙に作成のこと。
2. 用紙の余白は左右約 2.5cm とること。
3. タイトルを除いて 10 ポから 12 ポ程度の活字とすること。
4. 原稿は横書きとし、1 ページの行数は(40 文字×40 行)程度とすること。
5. 「業績内容説明書」は、参考文献を別として①研究成果の概要を 1,400 字以内に、②研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけと研究状況を 8,000 字以内にまとめること。
6. 年号は全て西暦で統一すること。
7. 支部へ提出の際には「支部長宛の推薦用紙」を添付し、「会長宛候補者推薦書」を 1 頁目とし、以下「研究歴」「業績内容説明書」「業績目録」の順とし、用紙下部中央に通し頁を記入すること。

# 推 薦 書

年 月 日

日本化学会  
支 部 長 殿

支 部

学 会 賞  
学 術 賞  
下記の者を 進 歩 賞  
化学教育賞  
化学教育有功賞  
女性化学者奨励賞

受賞候補者として推薦します。

(該当を○で囲んで下さい。)

候補者氏名 (勤務先)	( )
----------------	-----

推薦者氏名 (勤務先)	印 ( )
----------------	----------

推薦者連絡先	(所在地) 〒  Tel.  FAX.  E-mail
--------	---

整理  
番号

# 学術賞候補者推薦書

年 月 日

日本化学会会長 殿

\_\_\_\_\_ 支部

支部長 \_\_\_\_\_

下記の者を学術賞候補者として推薦します。

(推薦分野： \_\_\_\_\_ )

候補者	(ふりがな) 候補者氏名	_____	会員番号	_____	
		_____	生年月日	西暦 年 月 日	
	勤務先と職名	_____			
	勤務先所在地	〒 _____			
		Tel.	FAX.	E-mail	
	最終学歴	_____		学位	_____
	現住所 (自宅)	〒 _____			
		Tel.	FAX.	E-mail	
連絡先	勤務先 ・ 自宅 (どちらかに○印を付けて下さい)				
(和文) 研究題目	_____				
(英文)	_____				
過去における 受賞歴	_____				

(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

## 研究歴（職歴を含む）

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

# 業績内容説明書

研究題目	
1. 研究成果の概要 [1,400 字以内にご記入下さい。10～12 ボ程度の活字を使用すること]	

2. 研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけと研究状況

[反応式、構造式、図・表などを含め、本用紙 4～5 枚(約 8,000 字以内)にご記入下さい。]



以下 1 頁 40 行程度(10~12 ぽ)で、次項以降はこの頁をコピーしてお使い下さい。

# 業績目録

当該研究に関連のある主要な論文(総説を含む)20件以内。論文と総説に分けてご記入下さい。

以下 1 頁 40 行程度(10~12 ぽ)で、次項以降はこの頁をコピーしてお使い下さい。